

欧州特許庁、社会報告書2014を公表

2015年7月13日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は、7月8日付で社会報告書2014（Social Report 2014）を同庁のウェブサイトにて公表した。

社会報告書は、EPOにおける現状の社会状況及び課題について把握するために、指標に基づき簡潔かつ事実ベースでEPOの職員及び職場環境の包括的概要に関する情報を提供するものであり、2012年から毎年報告されているもの。

本件に関するプレスリリースでは、2014年は、昨年を6%上回る193人の特許審査官を新規に採用したこと、昨年を23%上回る豊富な応募者数から選抜でき有能な人材の確保に貢献したとしている。

本報告書では、職務、国籍、年齢、性別等によってEPOの人的構成が報告されているほか、給与、社会保障、労働条件、福利厚生等の観点についても報告されている。

— プレスリリースは、以下参照 —

[Social Report 2014 published](#)

— 報告書の全文は、以下参照 —

[Social report 2014 \(PDF\)](#)

— EPOの2014年年報公表に関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 —

[欧州特許庁、2014年年報を公表（2015年2月26日）（PDF）](#)

(以上)